

# 1年生 社会科（歴史的分野）学習指導案

日 時 平成23年12月13日（火）5校時  
指導者 浜田市立旭中学校 教諭 領家 弘典  
会 場 浜田市立旭中学校 1年生教室

## 1. 単元名 武家政治と東アジア（中世の日本）

### 2. 単元の目標

- 中世の人物や歴史的事象への関心を高め、学習課題に意欲的に取り組むことができる。  
【社会的事象への関心、意欲、態度】
- 武家政権の成立と変遷、民衆の成長を東アジアの情勢などと関連づけ、多面的・多角的にとらえることができる。また、歴史上の事実をもとにして事象の意義を判断し、理由を説明することができる。  
【社会的な思考、判断、表現】
- 文章資料や絵画資料を通して、個々の立場や当時の生活の様子を読み取ることができる。  
【資料活用の技能】
- 中世の歴史的事象の名称や内容、関わった人物や場所などを正確に理解することができる。  
【社会的事象についての知識、理解】

### 3. 学習の基盤

○本単元では、我が国の中世の特色を世界の動きとの関連に注目して学習する。中世の日本では武士の支配が次第に広がり、朝廷の影響力や荘園制度は徐々に衰えていった。しかしながら、誕生したばかりの、武家政権は決して強固なものではなかった。朝廷からの揺さぶりや元寇など、国の内外からの影響を受けるたびに武家政権は大きく動揺した。一方で民衆は変化する政権に対応しながら、経済力を高め、横のつながりを強めていく。中世の後期には、成長した地方勢力や民衆の力によって幕府による支配は力を失った。やがて、応仁の乱をきっかけに戦国時代に突入し、下剋上の風潮の中で実力あるものがのし上がり、新たな秩序が形作られ、近世へと移行していった。

本単元は、『中学校学習指導要領社会編』「歴史的分野の内容（3）中世の日本」にあたる。学習指導要領には「東アジアの国際関係」を扱うことや、「武家政治の特色について」学習することが明記されている。「武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化」については、中世に生まれた文化が、数多く現在に結びついていることを扱う。

本時では、学習指導要領の「2内容（1）ウ 学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえさせる。」にあたる学習活動を行う。今回の指導要領の改訂によって新しく登場することになった学習活動である。「各時代のまとめとして実施することを原則とする。」とあり、時代の特色に関する課題意識を育成したうえで、他の時代との相違点に着目しながら、大観や表現の仕方を工夫して、各時代の特色をとらえるようにすることが求められている。時代の特色を表現する際には文章による表現活動を行い、言語活動の充実を図る。

○ … <個人情報保護のため省略> …

○本単元の指導では、最終的に時代を大観する活動を行うことを念頭に置き、各時間で学習した事象や扱った資料を年表でまとめて、時代の特色を考えるための資料とする。個々の事象をカードや絵画写真資料とし、大まかな年代の区分けの中で順番や因果関係を考えながら生徒たちの手で作成する。

中世のイメージをより正確にしていくために、絵画資料やイラスト教材を利用する。人物の肖像画や合戦などの絵巻、倭寇や悪党、民衆の姿を描いた絵画資料などを利用する。単元の途中で時代の様子を描いたイラストをみて考察を深める活動を行い、生徒が中世に対してイメー

ジを膨らませるよう支援する。

生徒が中世を大観し、自身のイメージを文章によって表現する活動を行う。文章による表現が容易になるよう章末までに、短文での表現活動を取り入れていく。学習した用語の意味も要所で確認をしていく。1年生の段階なので、長文による表現ではなく、フレーズを示してそこにつなげていくようにして文章表現を行う。

章のまとめとして行う活動なので、生徒が学習を振り返って総合的に判断することが求められる。いくつかの事象から、提示された条件にあった事象を自分の判断で選び、根拠を表現する。異なる価値に気づき、認め合ったうえで時代を大観する文章表現を発表する活動を行い、時代を多面的・多角的にとらえ、総合的に理解を深めることをめざす。

#### 4. 単元の計画と評価

##### (1) 指導計画

	テーマ	学習内容	学習活動	関 心	思 考	資 料	知 識	評価基準
1	武士の登場と成長	・武士の登場 ・武士団と荘園 ・院政と武士	・武士の登場や成長を時代背景と関連付けてとらえる。	○	○			○武士の登場や活躍について関心を持つことができる。(関心) ○武士の成長を荘園の発達や院政と関連付けてとらえることができる。(思考)
2	源平の争いと武家政権の成立	・源平合戦 ・幕府による支配 ・鎌倉幕府の仕組み	・鎌倉幕府成立の過程を年表や地図を使ってまとめる。			○	○	○源平合戦の経過を年表や地図を使ってまとめることができる。(資料) ○武家政権の成立に関わった人物と功績を正確にまとめることができる。(知識)
3	承久の乱と執権政治	・承久の乱 ・執権政治 ・御成敗式目	・承久の乱について幕府と朝廷の双方の立場から考える。		○	○		○承久の乱の目的を幕府と朝廷の立場で考えることができる。(思考) ○資料から北条政子が御家人たちに訴えた内容を読み取ることができる。(資料)
4	封建制度のなかでの武士と民衆	・もののふの道 ・武士の生活 ・民衆の暮らし	・武士や民衆の生活について、絵巻や想像図から読み取る。	○		○		○絵巻や想像図から当時の様子を読み取り、事象を正確に指摘できる。(資料) ○学習を通して当時の事象に対して興味や疑問を持つことができる。(関心)
5	鎌倉時代の宗教と文化	・武士に広がる仏教 ・庶民に広がる仏教 ・武士の時代の文化	・新しい仏教や文化を時代背景と関連付けてとらえる。		○		○	○新しい仏教の名称、開祖、特徴を正確にまとめることができる。(知識) ○新しい仏教や文化の背景に武士や民衆影響を見出すことができる。(思考)
6	元寇と国内の動揺	・モンゴル帝国 ・元の襲来 ・御家人たちの不満	・資料を通して元寇の様子と結果について正確にとらえる。		○	○		○元寇の様子を絵巻を通して性格に読み取ることができる。(資料) ○元寇に参加したさまざまな立場の思惑を多角的に考察することができる。(思考)
7	幕府滅亡と建武の新政	・「悪党」の出現 ・幕府の滅亡 ・天皇親政	・鎌倉幕府が滅亡する原因と過程を時代背景と関連付けてとらえる。	○	○			○幕府の滅亡から建武の新政に至る経過を正確にまとめることができる。(知識) ○倒幕に参加した人々の立場と思惑、新政の目的を考察することができる。(思考)
8	南北朝の動乱と室町幕府	・南北朝時代 ・足利氏による幕府 ・全国的な対立	・南北朝の全国的な争いと、義満が守護の力で統一を進めたことを理解する。			○	○	○南北朝の動乱の経過を年表と地図に正確に表すことができる。(資料) ○室町幕府の仕組みについて調べ、その特色を指摘することができる。(知識)
9	倭寇と東アジアの貿易体制	・民の建国と倭寇 ・日明貿易 ・琉球王国と蝦夷地	・日明貿易の姿を資料をもとに東アジア全体の動きの中でとらえる。		○	○		○倭寇の様子を絵巻や勘合、地図の資料を使ってまとめることができる。(資料) ○日明貿易の意義を東アジアの個々の立場を踏まえて考える。(思考)

10	産業の発達と定期市	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業の発達</li> <li>交通の発達と定期市</li> <li>けがれと差別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から当時の産業の様子を読み取る。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農村や港町、さまざまな職人の姿を資料を通して正確に読み取る。(資料)</li> <li>○差別意識が生み出された背景と差別された人々の活躍について考察する。(思考)</li> </ul>
11	応仁の乱と下克上	<ul style="list-style-type: none"> <li>応仁の乱と下克上</li> <li>戦国大名の出現</li> <li>支配者の実力とは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地を実力を持ったものが支配したことを理解する。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○応仁の乱の経過と影響について正確に理解することができる。(知識)</li> <li>○戦国大名の出現について関心を持ち、その政策について調べる。(関心)</li> </ul>
12	村と都市の自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>自力救済する社会</li> <li>一揆の発生</li> <li>惣村と町衆</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>惣村や一揆、自治都市の様子を資料から正しく読み取る。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支配力の低下と自力救済の動きを関連づけてとらえることができる。(思考)</li> <li>○民衆の自治の様子を資料から正確に読み取ることができる。(資料)</li> </ul>
13	庶民生活の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日につながる文化</li> <li>新しい生活様式</li> <li>東山文化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室町時代に生まれた文化や生活習慣が今日につながっていることに気づく。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○室町時代に生まれた文化の姿を、資料を通して正確にとらえる。(資料)</li> <li>○今日につながる文化の関係に気づき、関心を高めることができる。(関心)</li> </ul>
14	中世の年表をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習事項の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学習した内容を年表にまとめる。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史事象や絵画資料を年表を使って正確に位置付けることができる。(資料)</li> <li>○個々の事象の内容や人物が行った内容を正しく理解している。(知識)</li> </ul>
15	中世を大きくながめてみよう。 ＜本時＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>武士にとっての中世</li> <li>民衆にとっての中世</li> <li>自分から見た中世</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中世の事象を振り返り、中世の特色を自分なりの言葉で表現する。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の事象の武士や民衆への影響について考え、自分なりの言葉で表現することができる。(思考)</li> <li>○発展的な学習課題を見つける。(関心)</li> </ul>

※表中の項目と評価基準の( )内の表記について、「関心」は「社会的事象への関心、意欲、態度」を、「思考」は「社会的な思考、判断、表現」を、「資料」は「資料活用の技能」を「知識」は「社会的事象についての知識、理解」を表している。

## (2) 本時の学習

①目標 中世の学習を振り返り、武士や民衆に影響を与えた事象や中世の特色をこれまでの学習内容をもとにして表現することができる。

### ②展開

	学習活動	教師の支援(●)と評価(◎)	資料
導入	○中世のできごとを年表にまとめてみて気がついたことや感じたことを振り返る。	●前時の作業を振り返り、作成した年表とワークシートを準備する。	年表 (黒板) (プリント)
展開	○発表の手順を確認する。 ・黒板の年表で自分が選んだ事象に理由を書いた付箋を貼りつける。 ・手元のワークシートにメモを取りながら聞く。	●ワークシートと付箋を配布する。 項目によって付箋を色分けする。  ●同じ事象を選んだ場合でも、前者との相異を明らかにして理由を発表するように助言する。	ワークシート  付箋

展 開	○発表の準備をする。 <b>武士が力を持つことに大きく影響したものを1つ選ぼう。</b>	◎事実をもとに判断し、自分の言葉で表現することができたか。 【思考、判断、表現】  ●発表が単調にならないよう、方法を工夫する。  ●個々の意見の特色に着目する。  ●1つの質問が終わったところで、発表を聞いたことのまとめをワークシートに記入する。  ●前半の学習内容を踏まえて考察するよう助言する。 ●部分的にフレーズを示す。  ●十分な時間を確保して考察を行う。状況によって発表人数を調整する。	ワークシート
	幕府の権威が最も強かったと思う頃を1つ選ぼう。  <b>民衆の成長に大きく影響したと思うものを1つ選ぼう。</b>  ○1つの質問が終わったところで、その項目に関するまとめをする。  ○次の文を完成させて、中世はどんな時代か考えよう。 <b>「中世は                      な時代である。」</b> ・ワークシートに記入する。  ○順番に発表する。。		
ま と め	○皆の意見を聞いて気がついたことと疑問に思うことをワークシートにまとめる。	◎発展的な学習課題を見つけることができたか。 【関心、意欲、態度】	ワークシート

③評価：時代を大観する活動としてふさわしい発問、学習活動であったか。

(3) 本時の具体的な評価と支援

十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
個々の立場を踏まえ、事実をもとに、適切な語句を用いて時代の特色を自分なりに表現することができる。	事実をもとに判断し、時代の特色を自分なりに表現することができる。	年表とワークシートをもとに、中世の特色を確認して考察の支援を行う。